



CALENDAR 2012/4~2013/3

●「このカレンダーの特徴」はこの表紙の裏にあります。

●暦の説明(二十四節気・六曜など)は年間カレンダーの裏にあります。

●基礎医学器械 ●薬学研究器械

株式会社 夏目製作所

●実験動物飼育管理機器 ●理化学器械

<http://www.nazme.co.jp>

本社 〒113-8551 東京都文京区湯島2丁目18番6号 TEL.(03) 3813-3251 FAX.(03) 3815-2002 大阪支社 〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目7番18号 彩都バイオヒルズセンター3F TEL.(072) 646-9311 FAX.(072) 646-9300

このカレンダーの特徴

- 一ヶ月一葉の月次カレンダー(年度に合わせて4月から翌年3月まで)と、一度に一年分が確認できる大きな年次カレンダー(1月から翌年4月まで)との組み合わせ
- 週単位での予定管理がしやすいよう、月曜初めで前月末および翌月初めの日付も印刷
- 予定記入スペースの交点の一部を切り欠くことによって、目の錯覚で交点に影が見えるのを防ぐ
- 朔(新月)・上弦の月・下弦の月・望(満月)を月次カレンダー内にシンボル表示
- 古くからの日本のしきたりや、薄れ行く季節感を忘れないため、六曜・二十四節気・雑節・月齢(朔・望)などの情報も印刷(年次カレンダーの裏を捲るとそれらの説明も記載されています)
- 業務に関連のある行事・学会の予定を印刷(学会などの詳細や最終的な日程は各学会事務局にご確認下さい)
- 月次カレンダーは切り離さずに保管できるよう、リサイクル可能な紙製スパイラルを使用

— ご意見がございましたら、是非お聞かせ下さい。 —

2012 4



月	火	水	木	金	土	日
26 先勝	27 友引	28 先負	29 仏滅	30 大安	31 赤口 <small>上弦</small>	1 先勝
2 友引	3 先負	4 仏滅 清明	5 大安 眼科学会(東京)~8	6 赤口	7 先勝 <small>望</small>	8 友引 灌仏会・花まつり
9 先負	10 仏滅	11 大安 形成外科学会(東京)~13	12 赤口 外科学会(千葉)~14 医学放射線学会(横浜)~15	13 先勝 <small>下弦</small> 産科婦人科学会(神戸)~15 内科学会(京都)~15	14 友引	15 先負
16 仏滅 土用	17 大安	18 赤口 発明の日	19 先勝 内分泌学会(名古屋)~21 消化器病学会(東京)~21	20 友引 小児科学会(福岡)~22 呼吸器学会(神戸)~22 穀雨	21 先負 <small>朔</small> 泌尿器科学会(横浜)~24 旧閏三月大	22 仏滅
23 大安	24 赤口	25 先勝 感染症学会(長崎)~26	26 友引 リウマチ学会(東京)~28 病理学会(東京)~28	27 先負	28 仏滅	29 大安 <small>上弦</small> 昭和の日
30 赤口 振替休日						

2012

5



月 火 水 木 金 土 日

<p>30 赤口</p> <p>振替休日</p>	<p>1 先勝</p> <p>メーデー 八十八夜</p>	<p>2 友引</p>	<p>3 先負</p> <p>憲法記念日</p>	<p>4 仏滅</p> <p>みどりの日</p>	<p>5 大安</p> <p>こどもの日 端午 立夏</p>	<p>6 赤口</p> <p>望</p>
<p>7 先勝</p>	<p>8 友引</p>	<p>9 先負</p>	<p>10 仏滅</p> <p>食品衛生学会(東京) ~11 結核病学会(広島) ~11 耳鼻咽喉科学会(新潟) ~12 愛鳥週間 ~16</p>	<p>11 大安</p>	<p>12 赤口</p> <p>動物心理学会(西宮)~13</p>	<p>13 先勝</p> <p>母の日</p> <p>下弦</p>
<p>14 友引</p> <p>エピジェネティクス研究会(東京)~15</p>	<p>15 先負</p>	<p>16 仏滅</p>	<p>17 大安</p> <p>組織培養学会(京都)~18 糖尿病学会(横浜) ~19 整形外科学会(京都)~20</p>	<p>18 赤口</p> <p>栄養・食糧学会(仙台)~20</p>	<p>19 先勝</p>	<p>20 友引</p>
<p>21 仏滅</p> <p>小満 旧四月大</p> <p>朔</p>	<p>22 大安</p> <p>神経学会(東京)~25</p>	<p>23 赤口</p>	<p>24 先勝</p> <p>精神神経学会(札幌) ~26 実験動物学会 実験動物技術者協会合同総会(別府)~26</p>	<p>25 友引</p>	<p>26 先負</p>	<p>27 仏滅</p>
<p>28 大安</p> <p>発生物学会・ 細胞生物学会合同大会(神戸)~31</p>	<p>29 赤口</p> <p>上弦</p>	<p>30 先勝</p>	<p>31 友引</p>	<p>1 先負</p> <p>腎臓学会(横浜) ~3 皮膚科学会(京都) ~3</p>	<p>2 仏滅</p>	<p>3 大安</p>

2012 6



月	火	水	木	金	土	日
28 大安 発生物学会・ 細胞生物学会合同大会(神戸)~31	29 赤口 上弦	30 先勝	31 友引	1 先負 腎臓学会(横浜) ~3 皮膚科学会(京都) ~3	2 仏滅	3 大安
4 赤口 望	5 先勝 芒種	6 友引	7 先負 肝臓学会(金沢) ~8 麻酔科学会(神戸) ~9 医療機器学会(札幌) ~9 法医学会(浜松) ~9	8 仏滅	9 大安	10 赤口 入梅 時の記念日
11 先勝 下弦	12 友引	13 先負	14 仏滅	15 大安	16 赤口	17 先勝 父の日
18 友引	19 先負	20 大安 旧五月小	21 赤口 夏至	22 先勝 ビタミン学会(岐阜)~23	23 友引	24 先負
25 仏滅	26 大安	27 赤口 上弦	28 先勝 神経病理学会(新潟)~30 老年医学会(東京) ~30	29 友引	30 先負 大祓	1 仏滅 半夏生

2012 7



月	火	水	木	金	土	日
25 仏滅	26 大安	27 赤口 <small>上弦</small>	28 先勝 <small>神経病理学会(新潟)~30 老年医学会(東京)~30</small>	29 友引	30 先負 <small>大祓</small>	1 仏滅 <small>半夏生</small>
2 大安	3 赤口	4 先勝 <small>DDS学会(札幌)~5</small> <small>望</small>	5 友引	6 先負 <small>先天異常学会(東京)~8 霊長類学会(名古屋)~8</small>	7 仏滅 <small>小暑 七夕</small>	8 大安
9 赤口 <small>生体防御学会(東京)~11</small>	10 先勝	11 友引 <small>下弦</small>	12 先負	13 仏滅 <small>ぼん迎え火</small>	14 大安	15 赤口 <small>ぼん</small>
16 先勝 <small>海の日 ぼん送り火 やぶ入</small>	17 友引 <small>毒性学会(仙台)~19</small>	18 先負	19 赤口 <small>土用 旧六月大</small> <small>朔</small>	20 先勝	21 友引	22 先負 <small>大暑</small>
23 仏滅	24 大安	25 赤口	26 先勝 <small>基礎老化学会(船橋)~27</small> <small>上弦</small>	27 友引 <small>中毒学会(東京)~28</small> <small>土用の丑</small>	28 先負	29 仏滅
30 大安	31 赤口					

株式会社 夏目製作所

<http://www.nazme.co.jp>

本社 TEL. (03) 3813-3251 FAX. (03) 3815-2002
大阪支社 TEL. (072) 646-9311 FAX. (072) 646-9300

2012

8



月 火 水 木 金 土 日

30 大安	31 赤口	1 先勝	2 友引 平滑筋学会(東京)~3	3 先負	4 仏滅	5 大安
6 赤口	7 先勝 立秋	8 友引	9 先負	10 仏滅	11 大安	12 赤口
13 先勝 月遅れぼん迎え火	14 友引	15 先負 月遅れぼん	16 仏滅 月遅れぼん送り火	17 大安	18 先勝 旧七月小	19 友引
20 先負	21 仏滅	22 大安	23 赤口 処暑	24 先勝	25 友引	26 先負
27 仏滅	28 大安	29 赤口	30 先勝	31 友引 二百十日	1 先負 防災の日	2 仏滅

2012 9



月	火	水	木	金	土	日
27 仏滅 二百十日	28 大安	29 赤口	30 先勝	31 友引 二百十日	1 先負 防災の日	2 仏滅
3 大安	4 赤口	5 先勝 繁殖生物学会(筑波)~8	6 友引	7 先負 白露	8 仏滅 下弦	9 大安 重陽
10 赤口 二百十日	11 先勝 心理学会(川崎)~13	12 友引	13 先負 産科婦人科内視鏡学会(札幌)~15 動物学会(大阪)~15	14 仏滅 体力医学会(岐阜)~16 心臓病学会(金沢)~16 歯科基礎医学会(郡山)~16 獣医学会(盛岡)~16	15 大安	16 友引 旧八月小 朔
17 先負 敬老の日	18 仏滅 神経科学学会(名古屋)~21	19 大安 癌学会(札幌)~21 彼岸入り	20 赤口 移植学会(名古屋)~22 高血压学会(名古屋)~22	21 先勝	22 友引 生物物理学会(名古屋)~24 秋分の日 秋分・彼岸中日	23 先負 上弦
24 仏滅 遺伝学会(福岡)~26 社日	25 大安 彼岸明け	26 赤口	27 先勝	28 友引 神経内分泌学会(北九州)~29	29 先負	30 仏滅 神経化学会(神戸)~10/2 十五夜 望

2012 10



月	火	水	木	金	土	日
1 大安	2 赤口	3 先勝	4 友引	5 先負	6 仏滅	7 大安
8 赤口 下弦 体育の日 寒露	9 先勝	10 友引	11 先負 脈管学会(東京) ~13 核医学会(札幌) ~13 内分泌病理学会(仙台) ~13	12 仏滅	13 大安	14 赤口
15 先負 朔 旧九月大	16 仏滅	17 大安 脳神経外科学会(大阪)~19	18 赤口 統計の日	19 先勝	20 友引 土用	21 先負
22 仏滅 上弦	23 大安 霜降	24 赤口 公衆衛生学会(山口)~26	25 先勝	26 友引	27 先負 十三夜	28 仏滅
29 大安	30 赤口 望	31 先勝	1 友引	2 先負	3 仏滅 文化の日	4 大安

2012 11



月	火	水	木	金	土	日
29 大安	30 赤口 <small>望〇</small>	31 先勝	1 友引 <small>計量記念日</small>	2 先負	3 仏滅 <small>文化の日</small>	4 大安 <small>AALAS(ミネアポリス)~8</small>
5 赤口	6 先勝	7 友引 <small>下弦☾</small> <small>立冬</small>	8 先負 <small>一の酉</small>	9 仏滅	10 大安 <small>医真菌学会(東京)~11</small>	11 赤口
12 先勝	13 友引 <small>救急医学会(京都)~15</small>	14 仏滅 <small>朔●</small> <small>旧十月小</small>	15 大安 <small>七五三</small>	16 赤口	17 先勝 <small>下弦☾</small>	18 友引
19 先負	20 仏滅 <small>上弦☽</small> <small>二の酉</small>	21 大安	22 赤口 <small>人工臓器学会(福岡)~24</small>	23 先勝 <small>動物行動学会(奈良)~25</small> <small>勤労感謝の日</small>	24 友引 <small>エイズ学会(横浜)~26</small>	25 先負
26 仏滅	27 大安	28 赤口 <small>望〇</small>	29 先勝 <small>アレルギー学会(大阪)~12/1 動物実験代替法学会(東京)~12/1 比較内分泌学会(福井)~12/1</small>	30 友引	1 先負	2 仏滅

2012 12



月 火 水 木 金 土 日

26 仏滅	27 大安	28 赤口 <small>望</small>	29 先勝 アレルギー学会(大阪)~12/1 代替法学会(東京)~12/1	30 友引	1 先負	2 仏滅
3 大安	4 赤口	5 先勝 免疫学会(神戸)~7	6 友引	7 先負 大雪	8 仏滅 針供養	9 大安
10 赤口	11 先勝 分子生物学会(福岡)~14	12 友引	13 大安 旧十一月大	14 赤口 生化学会(福岡)~16	15 先勝	16 友引
17 先負	18 仏滅	19 大安	20 赤口 <small>上弦</small>	21 先勝 冬至	22 友引	23 先負 天皇誕生日
24 仏滅 振替休日 クリスマスイブ	25 大安 クリスマス	26 赤口	27 先勝	28 友引 <small>望</small>	29 先負	30 仏滅
31 大安 年越し・大祓						

2013

1



月 火 水 木 金 土 日

31 大安 <small>年越し・大祓</small>	1 赤口 <small>元日</small>	2 先勝	3 友引	4 先負	5 仏滅 <small>下弦</small> <small>小寒</small>	6 大安
7 赤口 <small>七草・人日</small>	8 先勝	9 友引 <small>宵えびす</small>	10 先負 <small>十日えびす</small>	11 仏滅 <small>鏡開き</small>	12 赤口 <small>朔</small> <small>旧十二月小</small>	13 先勝
14 友引 <small>成人の日</small>	15 先負 <small>小正月</small>	16 仏滅 <small>やぶ入</small>	17 大安 <small>土用</small>	18 赤口	19 先勝 <small>上弦</small>	20 友引 <small>大寒</small>
21 先負	22 仏滅	23 大安	24 赤口	25 先勝	26 友引	27 先負 <small>望</small>
28 仏滅	29 大安	30 赤口	31 先勝	1 友引	2 先負	3 仏滅 <small>下弦</small>

2013 2



月	火	水	木	金	土	日
28 仏滅	29 大安	30 赤口	31 先勝	1 友引	2 先負	3 仏滅 節分
4 大安 立春	5 赤口	6 先勝	7 友引	8 先負 針供養	9 仏滅 初午	10 先勝 旧正月 旧一月大
11 友引 建国記念の日	12 先負	13 仏滅	14 大安	15 赤口	16 先勝	17 友引
18 先負 雨水	19 仏滅	20 大安	21 赤口	22 先勝	23 友引	24 先負
25 仏滅	26 大安	27 赤口	28 先勝	1 友引	2 先負	3 仏滅 上巳・ひな祭り

2013

3



月	火	水	木	金	土	日
25 仏滅	26 大安 望○	27 赤口	28 先勝	1 友引	2 先負	3 仏滅 上巳・ひな祭り
4 大安	5 赤口 啓蟄	6 先勝	7 友引	8 先負	9 仏滅	10 大安
11 赤口	12 友引 旧二月小	13 先負	14 仏滅	15 大安 循環器学会(横浜)~17	16 赤口	17 先勝 彼岸入
18 友引	19 先負	20 仏滅 春分の日 春分・彼岸中日	21 大安 薬理学会(福岡)~23	22 赤口	23 先勝 彼岸明け 社日	24 友引 農芸化学会(仙台)~27
25 先負	26 仏滅	27 大安 生理学会(東京)~29 薬学会(横浜)~30	28 赤口	29 先勝	30 友引	31 先負

株式会社 夏目製作所

http://www.nazme.co.jp

本社 TEL.(03) 3813-3251 FAX.(03) 3815-2002
大阪支社 TEL.(072) 646-9311 FAX.(072) 646-9300

2012



1	2	3	4
月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
5	6	7	8
月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
9	10	11	12
月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

2013



1	2	3	4
月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

●基礎医学器械 ●薬学研究器械

株式会社 夏目製作所

●実験動物飼育管理機器 ●理化学器械

http://www.nazme.co.jp

本社 〒113-8551 東京都文京区湯島2丁目18番6号 TEL.(03) 3813-3251 FAX.(03) 3815-2002 大阪支社 〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目7番18号 彩都ハイオビルズセンター3F TEL.(072) 646-9311 FAX.(072) 646-9300

旧暦 とは

一般に旧暦とは太陽太陰暦を表す。太陽太陰暦は月の動きによって1年の長さを決め太陽の動きにより調整する。月が太陽と同じ方向にあって、暗い半面を地球に向けている朔(新月)の日から、満月を経て次の朔の前日までを1暦月(1ヶ月)とする。この1暦月の平均の長さは29.5306日の為、1ヶ月が29日の小の月と30日の大の月を設けた。従って1年の長さは29.53日×12ヶ月= 354.3672日となるが、季節が巡る周期である1太陽年(365.2422日)より11日短いため、1暦月追加(閏月)し、13暦月にする年を19年に7回(閏年)設け、暦と季節が違うことを防いだ。次の年の暦を計算して決定するので、閏月を設けるかどうかとも、大小の月の並び方も毎年替わった。江戸時代には閏月や大の月、小の月の並び方を示す「大 小 暦」当時は「大小」とのみ呼ばれた暦が登場した。ただ大小の月を示すだけでなく、絵や文章の中に月の大小と配列を折り込み、工夫をこらして遊んだ。国立国会図書館の「日本の暦」というhtmlに「大小」の事を始め暦に関する大変面白いページがあるので、アクセスしてみる事をお薦めする。

http://www.ndl.go.jp/koyomi/index.html

旧暦の閏年は1年382日か383日となり、平年が354日か355日のため、毎年同じ月日の季節にならず、暦に季節の移り変わりを示す目印点として二十四節気を設けた。

月次カレンダー内には月の朔望を以下のシンボルを使って表す。

朔● → 上弦◐ → 望○ → 下弦◑ → 朔●

新月 上弦の月 満月 下弦の月 新月

十五夜

旧暦八月十五日の月は「中秋の名月」「十五夜」と呼ばれます。旧暦では三ヶ月毎に季節が変わり、「七・八・九月」は秋、そしてそれぞれの季節に属する月には「初・中・晩」の文字をつけて、八月は秋の真ん中で「中秋」になります。とここで、旧暦八月十五日の中秋の名月を調べてみると、満月でないことが多いのです。旧暦の1日は「朔（新月）となる瞬間を含んだ日」ですので、0時0分に朔となる日も、23時59分になる日も同じく「一日」になります。朔（新月）から望（満月）までの平均日数は、約14.76日で、これが本当の満月の月齢の平均となります。また、月の軌道が円でないなどの理由から、朔から望までの日数は約138～158日の間で変化します。従って、旧暦八月十五日の月は満月で無いことの方が、実際には多くなります。では、中秋の名月は正しい満月の日に行うべきかと言えば、そうでは無いと考えます。

「中秋の名月」は一種のお祭りですから厳密に満月であることが必要なのではなくて、「八月の十五夜の月」として誰でもその日がわかることが重要なのです。やはり中秋の名月は「十五夜お月様」でなくてはなりませんよね。

なお、旧暦九月十三日の月を「十三夜の月」と言って、やはりお月見をします。

こよみのページ (<http://koyomi8.com/>) より引用させて頂きました。

二十四節気

春分を基点として一年の太陽の黄道を24等分し、それぞれの節気をあてて季節の推移をできるようにしたもので、二千年も前の中国の『前漢書律暦志』という書物にすでに見られる。

立春りっしゅん もっとも寒い日で、この日以降しだいに暖かさが増し春に入るとされる。節分の翌日にあたり、かつてはこの日を年初とした。八十八夜、二百十日などはこの日から数える。

雨水うすい 雪が雨に変わり草木の発芽を促すころ。

啓蟄けいちづ 啓は「ひらく」蟄は「もぐる」の意味で、穴にこもって冬ごもりしていた虫が這い出してくる時期。

春分しゅんぶん 春を半分に分ける日の意味で、昼と夜の長さがほぼ等しくなる（実際昼夜同じ長さになるのは春分の3日前である）。彼岸の中日。

清明せいめい 草木の芽がはっきりと萌え出し、万物が清く明るくなる時期。

穀雨こくう 百穀を生じる雨という意味で、穀物の発芽を促す雨が降るころ。

立夏りっか この日より夏に入る。春分と夏至の中間にあたる。

小満しょうまん 麦の穂が出、やや満足のできるころ。

芒種ぼうしゅ 芒のある穀物を植えるという、田植えの時期。

夏至げし 太陽が黄経90度に達し、昼がもっとも長くなる日（実際一番長い日は夏至の7日後である）。

小暑しょうしょ 梅雨が上がって、すごく暑くなってくる時期。

六曜

六曜の由来

中国の小六壬と言う迷信が日本に伝わり、作りかえられたものである。

日本には、鎌倉時代末期に伝来したと言われ、時代とともに名称も変遷して、現在の六曜(先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口)となった。

先勝せんかち 「せんしょう」ともいう。急用や訴訟などに用いて吉の日とされている。ただし午後は凶。

友引ともびき 世間一般に、この日に葬儀を行うとだれかが死を招くおそれがあるといわれる。午前中と夕刻と夜は相引きで勝負なしの吉日。ただし昼は凶。

先負せんまけ 「せんぶ」ともいう。この日は諸事控え目にして静観するのがよいとされ、急用や公事は避けること。午後は大吉。

仏滅ぶつめつ この日に開店、移転など、新規に事を起こすことはもちろん、陰陽道で何事をするのも忌むべき日とされている。

雑節

二十四節気のほかにもうけられた暦日で、日本の稲作に合わせた季節の区切りとしたものが多い。

節分せつぶん 季節の分かれめの意味で、もともと立春、立夏、立秋、立冬の前日をいうが、現在では立春の前日の特称となっている。古くは立春を一年の始めとしたため、大晦日の意味を持つ、そのため俗に年とり、追儺とって、豆をまいて、一年の邪神や災厄を追い払い、来る年の招福の行事が行なわれる。

初午はつうま 二月の最初の午の日。和銅四年二月初午の日に京都伏見稲荷で祭祀が行なわれたのが始めとされ、各地の稲荷神社で初午祭が行なわれる。

八十八夜はちじゅうはちや 立春から数えて八十八日目。この日以降は霜がなく、種まき、茶摘みなどを始める時期とされている。

入梅にゅうばい 太陽が黄経80度に達する日で、梅雨に入る日とされている。

半夏生はんげしやう 夏至から十一日目。半夏（からすびしゃく・サトイモ科）という薬草（吐気どめ）が生えるところで、梅雨明けとされ、田植えの最終日の目安とされている。

土用どよう 本来は立春、立夏、立秋、立冬の前十八日間を言うが、現在では夏の土用（立秋前の十八日間）をさす。陰陽五行説の土が物を変化させるという考えの「土旺用事」を略して土用と言い、季節を土用が変えていくことを意味する。夏の土用には、土用干しといって衣類の虫干しをしたり、土用の丑の日にウナギを食べて暑気あたりをさける習慣がある。

二百十日にひゃくとうか 立春から数えて二百十日目。台風の襲来が多く、稲の開花期にあたる事から、農家にとって厄日とされる。

大安たいあん 「だいあん」ともいう。陰陽道でこの日、結婚、旅行、建築、移動、開店等、何事をするのにも吉の日とされている。

赤口しゃくこう 「しゃくく」ともいう。新規の事始めはもちろん何事をするのにも忌むべき日とされている。ただし正午のみ吉。

六曜を決める規則

旧暦の朔日（月のはじめの日・1日）より、決められた順番で月末まで繰り返す。

各月によって、朔日の六曜は下記の如く決められている。

 	正月	7月	先勝
 	2月	8月	友引
 	3月	9月	先負
 	4月	10月	仏滅
 	5月	11月	大安
 	6月	12月	赤口

繰り返す順番は、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口・先勝である。

二百二十日にひゃくほつか 立春から数えて二百二十日目。二百十日と同じ意味。

彼岸びがん 春分、秋分の前々7日間。読経、墓参などの仏事を行なって西方浄土にいる祖先の霊をなぐさめるもので、太陽が真西に沈むこの時期に行なわれる。

盂蘭盆うらぼん 七月または八月の十三日から十六日に行なわれる祖先の霊を供養する仏事。迎え火、送り火をたき、精霊棚に食物などを供えるなどし、僧侶を招いて棚経を読んでもらう。

社日しゃにち 社は土地の神の意。春分、秋分にもっとも近い戌（つちのえ）の日で、地神を祀って春は豊作を祈り、秋は収穫を感謝する祭りを行なう。

大祓禊おほはらひ 六月と十二月の晦日（つごもり）に國中の罪やけがれを祓う神事。

五節句ごせつく 以下の各節句をいう。

じんじつ	人日の節句	一月七日、陰陽道で人を一年で最初に占う日とされ、七草粥を祝う。
じやうじ	上巳の節句	三月三日、桃の節句、雛祭り。女兒の成長を祝い、幸福を祈る。
たんご	端午の節句	五月五日、菖蒲の節句、子供の日。菖蒲や蓬で邪気を払う。男児の節句。
たなばた	七夕の節句	七月七日、牽牛星と織女星を祭る行事。竹を立て五色の短冊に歌や文字を書き、願い事をする。
ちやうちやう	重陽の節句	九月九日、菊の節句。易でいう陽数の九が重なることからいう。菊の花を酒にひたして飲む。